

ご挨拶

# 創立50周年を迎えて

今年は当社の前身である気象予報会社を創立して50年目、環境コンサルタントの新会社を設立して35年目となる節目の年を迎えました。

当社は、1953年5月2日に、トウジョウウェザーサービスセンターという気象予報の会社として創立されました。この年、日本テレビが放送を開始するのに際し、天気予報を毎日放映したいということで、創業者の社長に依頼したのが会社の始まりです。1953年8月1日より、皆様、よくご存知の「ヤン坊マー坊天気予報」が放映され、1979年3月までの26年間、予報解説を行いました。1979年にお断りした理由は本社がやや離れたところに移転したためです。現在では当社のホームページにおいてもリアルタイムの気象情報を提供していますが、当時はそのような情報提供の手段がなく隔世の感がいたします。

一方、環境問題について振り返りますと、我が国では1950年代から1960年代初めにかけて公害問題が顕在化し、政府は公害対策を総合的に推進するため、法体系の整備を行いました。1967年に「公害対策基本法」が、翌1968年に「大気汚染防止法」、「騒音規制法」が公布され、1970年の公害国会（第64回臨時国会）において「水質汚濁防止法」等公害14法が成立し、翌1971年に「環境庁」（現・環境省）が発足しました。さらに、1971年から1975年にかけて水質、大気、騒音等の環境基準が設定されています。また、環境影響評価（環境アセスメント）に関しては、1972年6月「各種公共事業にかかる環境保全対策について」の閣議了解が行われ、実質的には個別法によって環境影響評価がスタートしました。当社はこのような時代の要請に応えるため、1968年に気象予報に加え、生態系に対する環境コンサルタントを行う新会社を設立し再スタートいたしました。

当時はまさに環境調査の草創期であり、調査に用いる測器、調査測点の配置、調査頻度、調査時期、分析手法の検討等を諸先生方からのご指導を仰ぎながら、手探りの状態でスタートし、試行錯誤を重ねながら、「我こそは環境調査のプロフェッショナルである」という気概を持って夢中で突進してきたように思います。その後、数値シミュレーションモデルの開発、環境影響評価手法、環境保全対策の研究へと広がり、おかげさまで現在に至っております。

当社の環境コンサルタントとしての35年を振り返りますと、常に新たな挑戦の日々であったように思います。現在の環境問題は地球規模の環境問題や次世代への影響など、時空間的な広がりを持ち、その解決には社会科学分野も含めた学際的な取組みが必要とされております。

当社は今後もさらなる挑戦を続けながら、社会に貢献していく所存でございます。皆様方のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

平成15年1月1日  
国土環境株式会社  
取締役社長 田畑日出男